

Change and Innovation 3.0
For a Sustainable Future

健康・農業関連事業部門の プレスリリースについて

2019年10月1日

 SUMITOMO CHEMICAL

目次

Change & Innovation 3.0 For a Sustainable Future

I ニューファーム社の南米子会社4社の買収 3

II 飼料添加物メチオニン事業の競争力強化 10

事業買収の概要

買収対象会社：Nufarm の南米子会社4社（ブラジル・チリ・アルゼンチン・コロンビア）

買収対価：約700億円（クローリング時の純有利子負債残高等により変動する）

本買収の戦略的意義

1

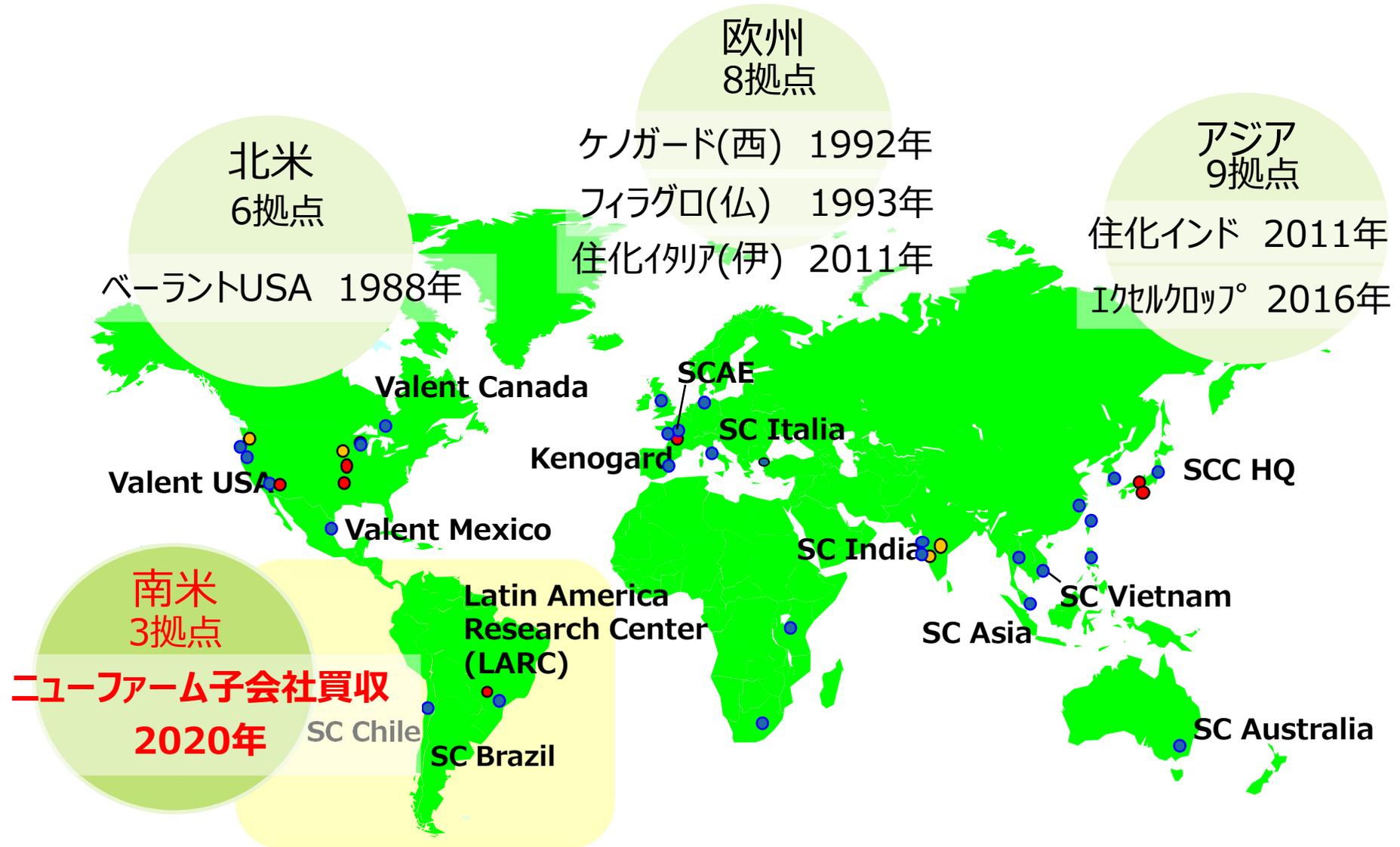
グローバルフットプリントの強化

2

南米での製販研一貫体制の構築

3

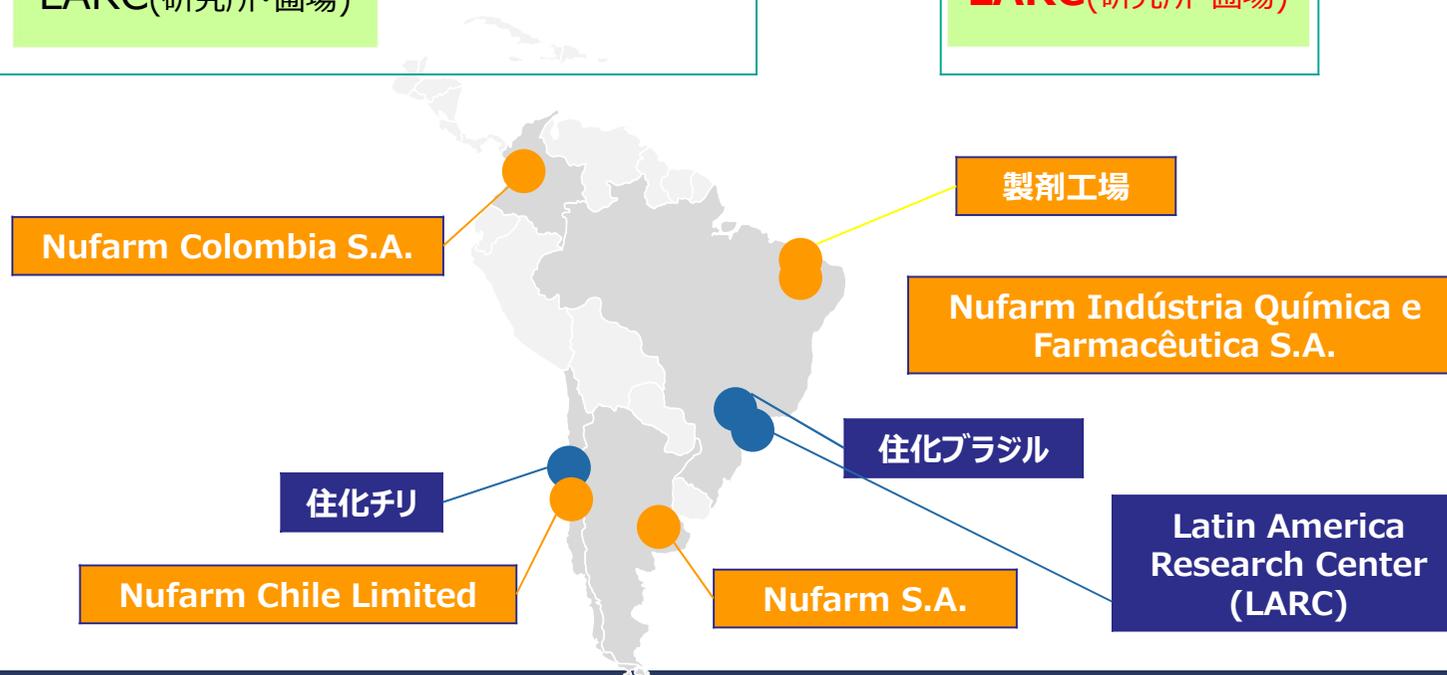
ブロックバスター剤INDIFLIN™の販売早期最大化

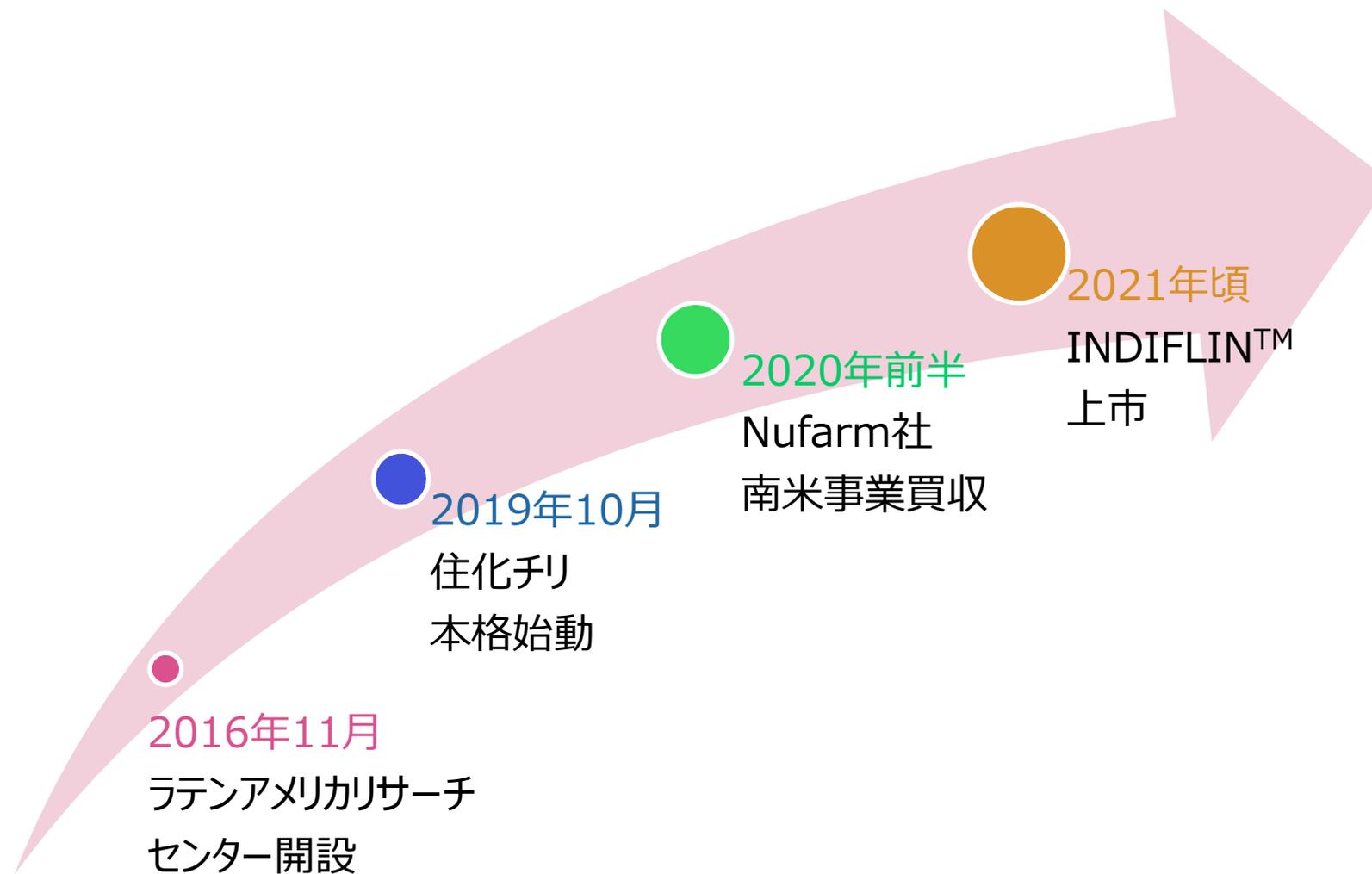


南米での製販研一貫体制の構築

Change & Innovation 3.0 For a Sustainable Future

	当社 農薬事業	N社 南米事業	合併後 南米事業
売上高	約300億円	約800億円	> 1,000億円
人員	約130名	約520名	> 600名
製造	-	製剤工場	製剤工場
販売	約50名	約160名	> 200名
R&D	LARC(研究所・圃場)	-	LARC(研究所・圃場)

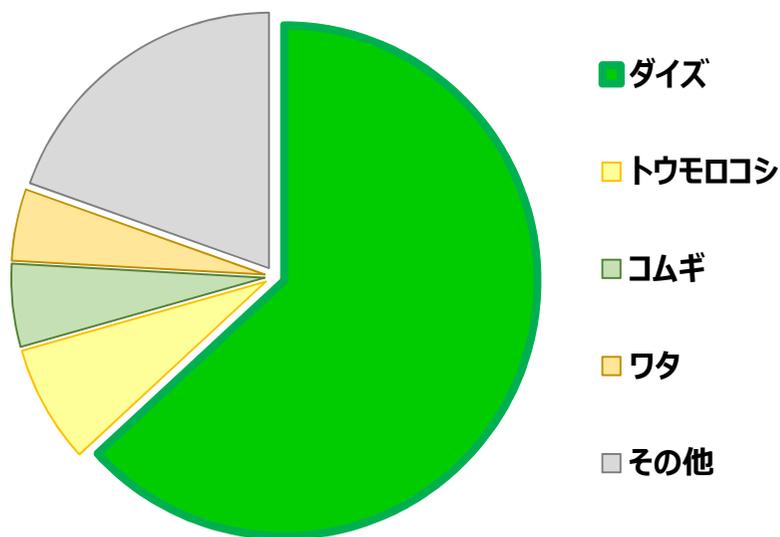




一般名： インピルフルキサム
 対象分野： ダイズさび病
 上市時期： 日本（2020年）
 アメリカ、**ブラジル**、**アルゼンチン**（2021年）

ブラジル殺菌剤市場（全体約\$3B）

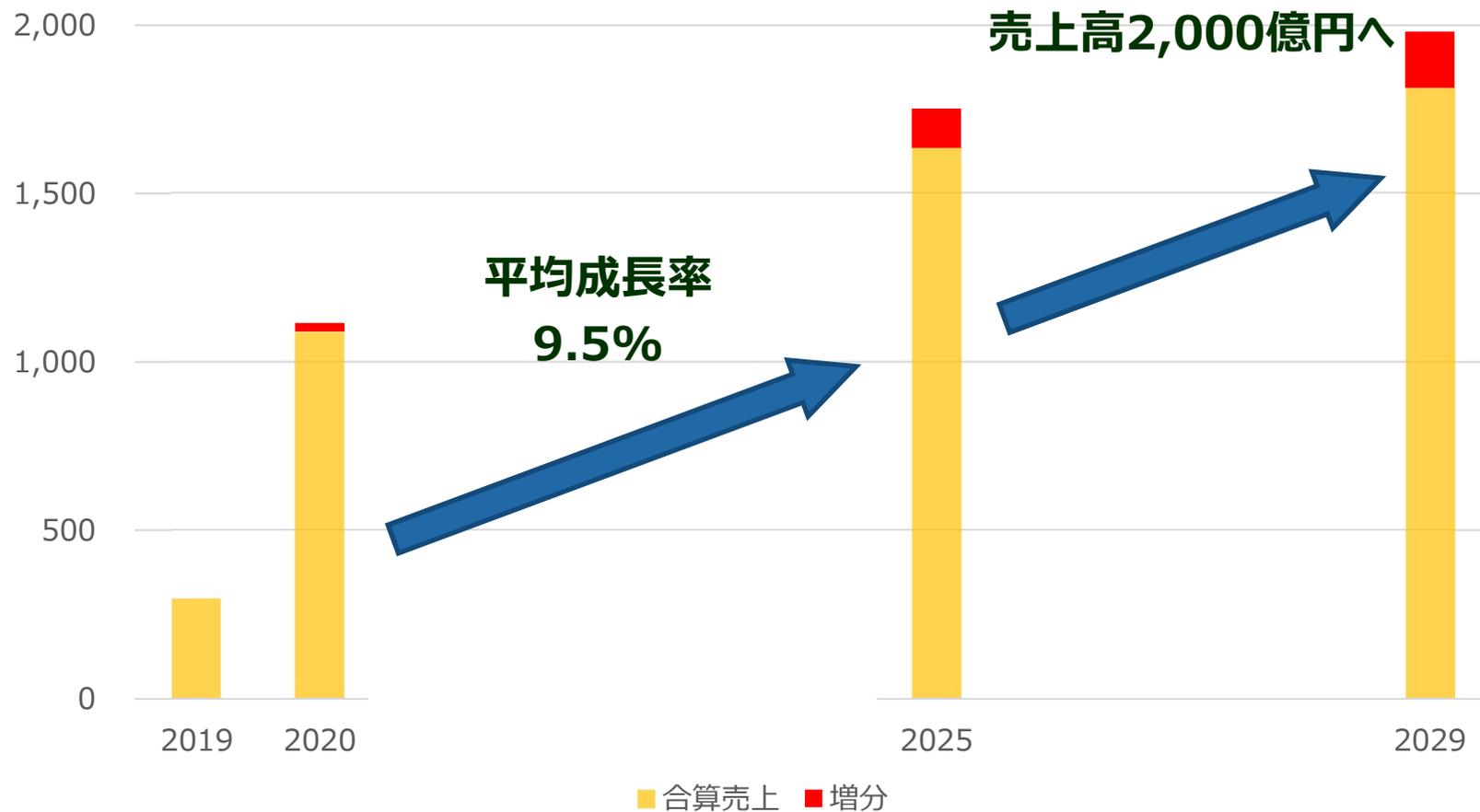
INDIFLIN™ 特徴

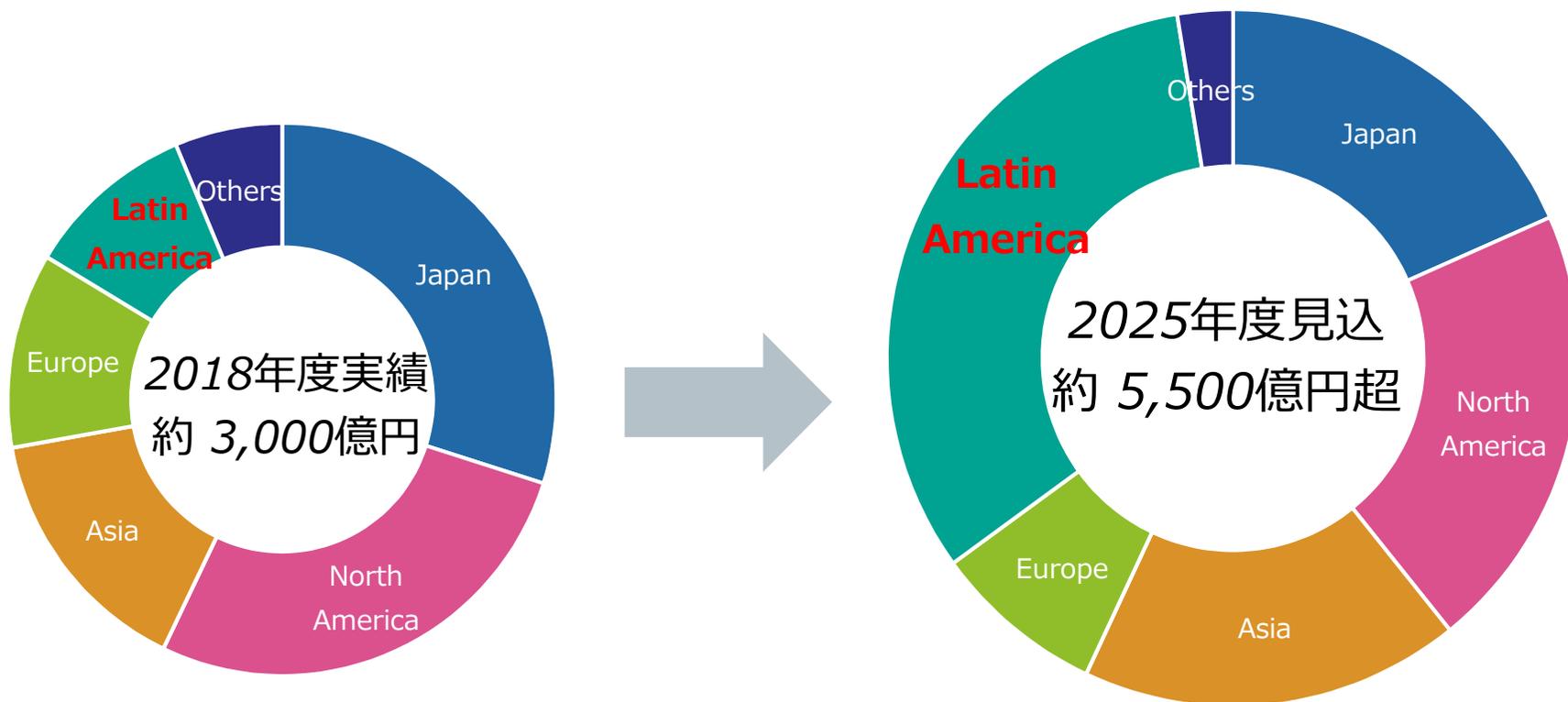


ダイズさび病市場：約20億USドル

- ダイズさび病に対し競合剤比で**10倍以上の高い抗菌活性**
→ 低薬量で病害抑制効果
- 既存抵抗性菌に対しても高い効力
- 浸透移行性をもち、高い治療効果を発揮

(単位:億円)





南米を成長ドライバーとした飛躍的な事業規模拡大

当社メチオニンプラントの一部停止

- ✓ 当社愛媛工場のメチオニンプラントのうち、生産効率の悪い旧式のプラントを本年9月末で停止。

当社プラントの
競争優位性

原料からの一貫生産

独自の生産技術

特殊な廃液・排ガスの取り扱い技術

厳しい事業環境の中、さらなるコスト競争力強化により収益性維持を図る

注意事項

本資料に掲載されている住友化学の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られた情報にもとづき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等に重大な影響を与えうる重要な要因としては、住友化学の事業領域をとりまく経済情勢、市場における住友化学の製品に対する需要動向、競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場において住友化学が引き続き顧客に受け入れられる製品を提供できる能力、為替レートの変動などがあります。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。